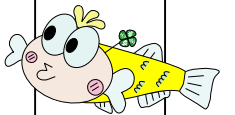


みでがわ通信



H22
年12月
No.5

見出川流域水循環再生協議会

環境展

10月24

日(日)「熊

取町環境展

」が煉瓦館

でにぎやか

に行われま

した。協議会も中庭で「見出川ふ

れあいコーナー」を出展。多くの

親子連れが来場しました。

コーナーの主役は何と言っても

見出川の生き物たち。10種類以上

の魚やえび、亀を水槽で展示しま

した。

また、ザリガニ釣りコーナーも

設けました。近くの池や水路で捕

まえたものです。するめをえさに

釣り上げようとしますが、なかなか

か食いついてくれません。どうに

かして取ろうと釣り糸でからめ取

る子もいましたが、どの子も生き

物を前に目を輝やかせていました。

牛乳パックで作った手作り和紙

には見出川の生き物たちを描いて

もらいました。本物をみてスケツ

チ、色付けもして力作ができあが



りました。

今回の催しでは、多くの人が見

出川にたくさんさんの生き物があるこ

とにびつくりされていました。

(泉州農と緑の総合事務所)

山から川、海へ

見出川上流では、熊取町立東小

学校3年生の子供達が“ホタルの

すむ川を知ろう”を見て、

ふれて、体中で豊かな自然を感じ

とろう”をテーマに高田地区の川

にはいり、水生生物の採取や観察

をします。始めはおそろおそろだ

った子供達もひょうきんな顔をし

たヨシノボリ、赤ちゃんをかかえ

たサワガニ、真っ赤なお腹のアカ

ハライモリに歓声をあげ、川の自

然を五感で感じ“川たんけん”を



思いつきり楽しんでくれます。こ

こには豊かな里山の自然があり、

川にはホタルや20数種類の水生

生物が生息しています。

4年生になると、「身近な里山

を知ろう”〜森は海につながって

いる〜をテーマにした助谷活動で

す。子供達は5つのポイントを体

験します。ホオジロの水浴びやモ

ズの高鳴き、トンビの滑空を観察

できた野鳥観察。サイレントゲー

ムでは無になつて心にじんわり自

然の息づかいをしみ込ませていま

した。ヒノキや杉の葉に触れ匂い

や形、木肌の違いを観察した樹木

観察。上流や全国ワースト7の下

流にすむ水生生物の観察。湧水の

ポイントでは、水の循環の話です。

山で生まれた湧水は川から海に流

れ、天にのぼり雨になって山にか

えつてきます。緑豊かな山はふか

ふかの腐葉土が緑のダムになり、

多くの生き物が生息する山は栄養

分いっぱいの水が川に流れ込んで

きます。

山の自然を感じてくれた子供

達は南中学校1年生では、里山の

役割、間伐、食物連鎖などを事前

学習で調べて、里山の体験学習で

す。初めて体験するヒノキの間伐

では、ノコで悪戦苦闘し、木が倒

れるときは大歓声です。うっそう

としていた林は間伐することで陽

光が入り、植生が豊かになります。

ヒノキの皮むきやコースター作り、

丸太切り競争の体験も皆で楽しみ

ました。緑豊かな里山があり、山

の恵みをいっぱいふくんだ川が河

口の海に流れていけば、多くの生

き物が生息する豊かな海になるで

しょう。山から川、海へと豊かな

自然がつながっていく、見出川

がそんな川になれば素敵だろうと

思います。

(NPO法人グリーンパーク熊取)



ウミホタル観察会

「きれい・すごい！」あちこちから喚声があがります。仕掛けに捕まってしまったウミホタルたちがびびくりして右往左往？泳ぎまわっています。えさのカニかまぼこの誘惑に負けてしまったのです。ワイングラスに移して、氷を入れると驚いたウミホタルたちが一斉に光ります。容器を振っても反応します。とつてもきれいな青白い蛍光の帯を吐き出しながら、くるくると泳ぎ回っています。

観察会は、九月十四日、岬町のときめきビーチ、人工の砂浜で行われました。主催は、岸和田土木事務所。共催は、せんなん里海公園管理事務所と、仕掛けの準備からお世話になった「うみべの森を育てる会」です。貝塚市立自然遊学館の山田浩二さんに解説をお願いしました。

ウミホタルってどんな生き物？

ウミホタルは、砂浜の海底で住んでいます。昼は砂の中で潜み、夕方暗くなると砂から出て活発に活動します。お目当ては魚の死体

などです。普通は、水面には出てきません。

大きさは3ミリほどで、ミジンコのような丸っこい体をしています。卵を持っていてメスは、オスよりもひと回り大きい。体内から光るもとの液を出し、水の中の酸素と反応して青い光を出します。

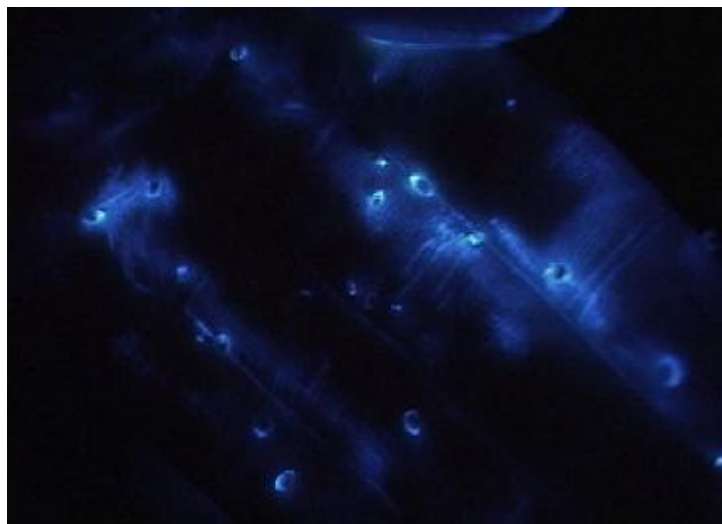
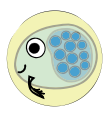
夜光虫とは違います

夜光虫は、赤潮の原因となるプランクトンです。夜には、一瞬ピカッと光ります。海面でたくさん光るとすごくきれいです。

大阪のウミホタルも元気ですよ

大阪湾では、淡路島のウミホタルが有名ですが、大阪でも泉州地域の砂浜海岸で、たくさん元気に生きています。今後とも、きれいな砂浜海岸を大切に守っていきたいですね。

観察会の様子は「私の水辺 大発表会」泉州子ども地域交流会でも紹介されます。是非、ご参加下さい。
(府立泉南高校 田中正規教諭)

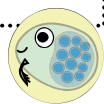


「手についたウミホタルが光ります」

みんなで再生
できることから
がんばる気持ち
わを持って！

みでがわ通信を Web でご覧ください

<http://www.city.kai.zuka.lg.jp/shizen/kai.zuka/area/midewawa.html>



見出川流域水循環再生協議会

【事務局】

大阪府 泉州農と緑の総合事務所
環境指導課
電話 072-439-3601 (内 216, 217)

メールアドレス

senshukankyo01@gbox.pref.osaka.lg.jp



子供の作品が看板になっています。
川田橋・谷川橋・王子新橋・見出橋に看板を、大師橋には陶板を設置しています。